

平成18年度川崎区区民会議 第2回子育て部会会議録

日 時 平成19年1月29日(月)午後6時30分
場 所 川崎区役所7階第1会議室

出席委員：8名(敬称略)

須山令子、吉邨泰弘、長谷川幸子、原田歩、藍原晃、田辺富夫、朴栄子、荒井敬八、

傍聴：0名

議題及び公開・非公開

- (1) 次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援に関する具体的な取り組みについて
- (2) その他

1 開 会

事務局(会議公開及び写真撮影の説明、傍聴時の注意事項説明、出席委員確認、事務局職員紹介など)

2 部会長あいさつ

部会長 第4回区民会議に向けて、これまで出された意見を細かく検討し、いつ誰がどのように実行するのか具体的に議論して欲しい。

3 連絡事項

事務局(本日の議題及びタイムスケジュール説明、配布資料確認)

4 議 題

- (1) 次世代を担う子どもの安全・安心を中心とした地域子育て支援に関する具体的な取り組みについて

部会長 安全・安心を中心とした具体的な取り組み案を審議したいと思う。これまでの審議内容を資料にまとめてあるので、事務局に資料の説明をお願いする。

事務局 (青色回転灯装着車の地域防犯パトロール、見守り看板の設置など区民と行政の協働の取り組みを説明。麻生区区民会議で毎月1日と10日を子どもの見守りの重点活動日にする提案があったことを紹介)

部会長 区民会議の設置目的は区民の参加と協働で区の課題を解決することである。今日は区民会議として実際に実行できることを審議し、決めていきたいと考えている。

大島地区で防犯パトロールを実施していると思うので、事例を紹介して欲しい。

委員 防犯パトロールなどを継続していくためには、パトロールをする人の負担にならないようにすることが重要である。大島地区は3町内が協力して実施しているが、パトロールをする各人には2、3カ月に1回くらいの頻度で当番が回ってくる。1回の活動時間は下校時間帯の2、3時間である。登校時間帯はPTAが見守り活動をしている。

防犯パトロールは他都市で不審者が小学校に侵入し、児童が切りつけられるという事件が発生したことを受けて始めた。他都市だったから大丈夫と考えずに自分の地域でも起こりうると認識しなければならないと思う。

部会長 他の地域で実施している事例があれば紹介して欲しい。

委員 私の住んでいる地域でも登校時間帯に自転車でパトロールをしているが、下校時間帯は時間に幅があるので実施していない。

先日不審者が現れたが、すぐに生徒が学校に連絡し、警察と連携して犯人を捕まえることができた。これまでの審議でも意見が出されたように、地域、家庭、学校、行政などの関係機関で迅速に連絡を取り、連携して対応することが重要だと感じた。

地域と学校の連携を取るために、四谷小学校では体験学習をしている。小学校の児童に地域の老人会が昔の遊びを教えたり、町内の人がお祭りの太鼓やお囃子を教えたり、民生委員や社会福祉協議会の人が車イス体験をさせたりしている。

部会長 区民会議で防犯パトロールの実施を提案するとしても、各地域それぞれ特徴があり、簡単にはできないと思う。

委員 365日24時間防犯活動することが理想であり、それは無理なことではないと思う。

区内には地域性というほど地域の特徴はない。先日渡良瀬遊水に行ってきたが、1kmも2kmも街灯が設置されておらず、真っ暗である。そういうところで事件・事故が起こる。それに比べて川崎区はどの地域でも数十mごとに街灯が設置されている。高級住宅地、下町といった区分けもなく、学校の規模も大差ない。既に活動しているかどうかの違いだと思う。

実施するならば区内全域で一斉に取り組んだ方が効果的である。

地域の人が校門で児童や生徒にあいさつをしている学校もあるが、校門であいさつをするのは本来先生の役割である。地域の方は学校周辺をパトロールすれば良いと思う。

子どもが事故に遭うのは登下校時だけでない。日中にどんな人が学校内に侵入してくるかわからないので、日中も地域の方が学校内に入り、見守りをするべきだと思う。

いじめ問題も地域の方が学校内の死角を見回れば防げると思う。

部会長 既に一部の学校ではPTAや地域の方が学校内に入っている。

委員 一部ではなく区内全校で実施すべきだと思う。

1校あたり50人くらいで組織をつくり、当番などを決めて実施する。ユニホームや目印などを決め、当番でない日もそれを身に着けて出掛ければ、周りの人は防犯パトロールをしていると思い、抑止力が発生する。登下校時間帯に家の前に立って子どもたちに声を掛けるだけでも良い。区内に小学校が21校あるので、全校で実施したら1,000人以上の人が子どもを見守っていることになる。

部会長 まずは登下校時に学校周辺の見守り活動を実施し、その後学校内の見守り活動に広げていったらどうか。

委員 別々に実施すると時間も費用もかかる。せっかく区内の有力者が参加する区民会議を設置したのだから、もっと大々的に取り組まなければ意味がないと思う。

委員 区民会議は会議の中で決まったことを実際に実施するため、区内のいろいろな団体から推薦を受けた人に参加してもらっているが、協力をお願いするだけで強制はできない。

区民会議を設置した趣旨は、地域の身近な課題を地域で生活する人の視点で把握して解決策を提案し、それを区民が実際に実行することである。そのため、行政はあくまで支援する立場である。

川崎区に限らず他区でも、区民会議で決まったことを各委員が推薦団体をお願いした場合、実際に団体が実施できるのかどうかという問題に直面している。

委員 最近はその地区も子どもの安全に関しては熱心に取り組む姿勢が見られる。

ただ、登校時、日中、下校時と1日中見守りをするのは難しいと思う。

委員 地域には時間がある人がいるので、難しいことではないと思う。

委員 川崎少年補導員連絡会、川崎わんわんパトロール隊など他にも子どもの安全・安心に関係していそうな団体があるが、これらの団体はどのような取り組みをしているのか。区民会議ではそれらの団体と取り組みが重複しないようにしなければ非効率だと思う。

事務局 川崎少年補導員は主に子どもの非行防止パトロールを実施している。子どもを事件・事故から守る活動ではない。

委員 最近は子どもを事件・事故から守る活動も実施しているようであるが、月に2回くらいの頻度である。

部会長 土・日曜など学校が休みの日の子どもの安全・安心も検討したいと思う。

委員 防犯パトロールなどを実施しなくても、普段の生活の中で防犯パトロールのユニホームや目印を身に付けて外出すれば良いと思う。

地域にユニホームや目印を身に付けた人がいれば、不審者は監視されている印象を持つと思う。

事務局 「ながら」、つまり日常生活の中で他の事をしながら子どもの見守りをしてもらえれば良いのではないかと考えている。そうすればあまり負担にならないのではないかと思う。重点的に取り組む場合には、他の団体と協働して実施すれば良いと思う。

委員 学校のバックネット裏や塀際など、学校内のあまり使われていない場所を利用して、地域の人が野菜の栽培やゲートボールなどができるようにしている学校もある。

委員 見守り看板は区民会議でも提案があったことなので、設置主体として区役所名とともに「川崎区民会議」と表記したらどうだろうか。

部会長 前回の部会で臨港中学校区の「見守り看板」と「下校時商店街放送」の事例紹介があった。これらの取り組みは既に行政が関係団体などに提案をしているが、区民会議でも取り組みを後押しして地域に広めて行くという方針に決定して良いか。

委員 後押しではなく、区民会議で決まったので実施するというくらい強い表現の方が良いと思う。

部会長 「見守り看板」と「下校時商店街放送」は区民会議でも積極的に取り組むことに

決定する。

これらは区民と行政の協働で実施する取り組みなので、区民が実施する取り組みを審議して欲しい。

委員 具体的に、例えば防犯パトロールならばどのくらいの人数、頻度で実施するかなどを各団体に提案したい。その提案がその団体で実施できるかどうかは各団体の判断によるだろう。

部会長 取り組み方法もいろいろあるが、内容を絞って提案したいと思う。

委員 区民会議の委員には地域の実力者がそろっている。区民会議で決まったことを各委員が所属団体に持ち帰って提案すれば1、2カ月で実行できる。それくらいの力強さがなければ区民会議を設置した意味がない。

委員 登下校時、つまり学校外の安全・安心の議論をしているが、いじめを受けている子どもにとっては学校内も危険である。それら学校内の安全・安心も含めて地域でできないだろうか。以前に地域の小学校の校長に提案したら「ぜひお願いしたい」と言っていた。

委員 学校内は学校長の権限に属している。学校長によっては学校内のことは学校で対応するという考え方もあるだろう。

委員 地域の中学校の事例だが、学校内で授業妨害などの問題を起こしている生徒がいたが、その生徒の兄でその中学校のOB二人が見守りをして問題を起こさなくなった。しかし、部外者が学校内に立ち入る場合は先生が付き添わなければならないため、そのOB二人に先生が一人付き添った。確かに問題を起こさなくなったのは良いが、学校側にしてみれば先生も人手不足なので、付き添いに人手が割かれると正直言って困るそうだ。

委員 学校長、PTA、地域の人などが十分な検討を重ね、どのような方法であれば学校内の見守りができるかを考えれば良いと思う。

登下校時間に自宅前に立ったり、買い物や犬の散歩をしながら見守り活動したりすれば、すぐに実施でき、負担も少ないため継続的に取り組むことができると思う。

確かに学校によっては学校内のことは学校で対応するというところもあると思うので、まず、第1段階として学校周辺の見守りを実行する。第2段階としてできる地域だ

け学校内の見守りも実施すれば良いと思う。

部会長 まず登下校時の学校周辺の見守りを検討し、学校内の見守りはそれがまとまってから審議すれば良いのではないだろうか。

実際に各団体が実施するために、具体的で詳細な内容を決めなければならない。検討内容を絞って審議したい。

事務局 「ながら」の見守り活動は地域の人が日々の生活の中で実施する活動であるが、その他に、例えば地域の団体が日にちを決めて青色回転灯車でパトロールをするなど、地域が見守り活動をしていることの象徴的な取り組みを提案して欲しい。

藍原委員 青色回転灯車は使用する際の手続きに手間がかかり、パトロール中に何らかの事故が発生した場合の補償もないため、使用しづらい。

部会長 これまで登下校時と土・日曜に防犯パトロールを実施するという意見が出たが、区民会議としてそれに組み込むということでよいか、それとも他の取り組みを実施するのか検討して欲しい。

委員 長期的に継続して実施するには「ながら」の見守り活動を中心に組み込むことが負担も少なく良いと思う。

見守り看板には設置主体として「川崎区区民会議」、各団体名などを表記し、看板として掲出するだけでなく、ポスターとして掲出するのも良いと思う。

地域の人が防犯のために子どもに声をかけても、子どもが逃げてしまうこともあるそうなので、「いつでも笑顔であいさつを」などの文言を表記し、地域の人との信頼関係を築くように、声かけ運動も推進する内容にすると良いと思う。

委員 土・日曜の防犯パトロールは人手を集めるのが大変ではないだろうか。防犯パトロールよりも「ながら」の見守り活動の方が、地域の人負担が少なく良いと思う。

委員 土・日曜の子どもの安全・安心は家庭の役割だと思う。

委員 土・日曜でも最近ではパートなどの仕事をしていて、保護者が子どもと一緒にいられない家庭もある。

委員 本来子育ては家庭の役割だと思う。夫婦共働きだからといって地域に任せきりとい

うわけにもいかない。土・日曜くらいは家庭で子どもを見た方がよいと思う。

委員 「ながら」の見守り活動は平日、土・日曜関係なく実施したら良いと思う。ベストなどのユニホームや目印などを身に付けて買い物などに出掛け、同じユニホームを着た人に会ったら「お疲れ様」などの声を掛ければ、周囲の人に子どもの見守り活動をしていることを周知することができ、抑止力になると思う。

麻生区の子ども見守り重点活動日は良い活動だと思う。日にちや場所などを決めて重点的に取り組むことによって、活動していることを周知することができる。

委員 青色回転灯車は行政に何台くらいあるのか。

事務局 青色回転灯車は警察で登録すれば専用の自動車でなくてもよいので、地域でも実施できる。

「ながら」の見守り活動を実施するという方向性が出されたが、麻生区の子ども見守り重点活動日のような見守り活動の象徴となるような取り組みがあれば良いと思う。

委員 「ながら」の見守り活動は良いと思う。暗くなってから下校する児童や生徒も多いので、地域の人が買い物、犬の散歩などをしながら、一緒に帰ってくると保護者は安心である。

見守り活動は町内会などの各団体の会員が仕事として取り組みののではなく、「こういう活動があります」と会員に紹介し、その趣旨に賛同した人に自発的な協力を求める方が良いと思う。

委員 先ほど学校内の見守りの提案があったが、行政はどのように考えているのか。

事務局 以前は学校内のことは学校という考え方も多かったが、最近は学校、家庭、地域の三者の連携を取るようになっている。

学校内の見守りはありがたいが、実施するには課題もあると思う。

委員 川崎区に働きに来ている人も含め、広い意味で区民全体に呼びかければ良いと思う。

委員 既に学校内に地域の人が入って見守りをしている学校もある。

委員 地域には活動しようと思っている人が大勢いるが、なかなか学校内に入れないうでいる。町内会などの団体が、そういう人に取り組みに参加してもらうように呼びかけてい

くと良いと思う。

委員 見守り看板はどのように掲出するのか。町内会の掲示板などに掲出するのか。

事務局 この見守り看板は臨港中学校区で既に実施されている。良い取り組みなので、臨港中学校区地域教育会議の了承を得て、区全体に広げて行きたいと考えている。

単に見守り看板を設置すれば良いということではなく、見守り看板を地域のどこに掲出すれば効果的かなどを地域で考えてもらい、それを子どもの安全・安心を地域で考えるきっかけにして欲しい。

(2) その他

部会長 イメージアップ部会では区の現状を実際に見てまわる「まち歩き」を実施する。

子育て支援部会でも、既に見守り活動に取り組んでいる地域や各地域の子どもが事件・事故に遭いそうな場所などを実際に見てまわる「まち歩き」実施してはどうか。

委員 イメージアップ部会は放置自転車、商店街のなどの状況を見る必要があるだろうが、活動を見るだけならば子育て支援部会の「まち歩き」は必要ないと思う。

5 事務連絡

事務局 (アメフトW杯のPR、第4回区民会議の日程調整を説明)

6 お礼

区長 (お礼の言葉を述べる)

7 閉会

事務局 以上で川崎区区民会議 第2回イメージアップ部会を終了する。

午後 8時37分 閉会